

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	健康な食が健康な体を育む。～環境保全型農業の推進～
事業主体 (連絡先)	松川町 松川町役場産業観光課 (農業委員会事務局)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	978,647 円 (うち支援金: 764,000 円)

事業内容

- ① 遊休農地対策として、農地を持たない方の農業への関心・取組を促すため、野菜づくり指南番組 (D o 遊農) を制作し、ケーブルテレビで毎月放映した。また、菌ちゃん先生こと吉田俊道氏の講演会及び圃場での体験会、オオタヴィン監督の映画「いただきます。～ここは発酵の楽園～」等の上映会を6月5日・11月1日に開催し、食の安全・健康な土壌づくりについて学びました。
- ② 環境保全型農業を目指し、自然農法研究センターの講師の皆さんに、有機栽培、自然農法についてのノウハウを実証圃場にて学びました。
- ③ 学校給食及び、病院への有機食材の提供を実施。



【菌ちゃん先生こと吉田俊道氏講演会】

【目標・ねらい】

- ① 啓発活動により、農業に触れていない皆さんにも関心を持ってもらう (講演会・野菜づくり番組)
- ② 環境保全型農業の推進として、実証圃場での研修会で土壌づくり、知力向上のノウハウを学ぶ。
- ③ 子どもたちへの食育として、学校給食への提供、菌ちゃん農法体験等を実施した。

事業効果

- ① ケーブルテレビでの放送。9回。問い合わせ等も増えた。ふれあいガーデンについては、現在、全区画が埋まっており野菜づくり愛好家を楽しみながら耕作している。講演会 (体験会)、上映会には6月5日は85名、11月1日は62名の参加があり菌ちゃん先生、オオタ監督のトークを楽しみながら菌による土づくり、有機農業により未来の環境を守っていかなければならない事を学んだ。
- ② 実証圃場は主要5品目のほか、少量多品目により有機農業を実施する農家の加入、また、ノウハウ連携で農業を実施する事業者が土作りから学ぶ機会ができた。全10回の研修会の中で、町内外から多くの参加があった。2年目の研修会となり、継続して実施してきた圃場での終了アップ、また生物多様性により、収穫までこぎつけた事例もあった。
- ③ 学校給食へは栽培できたものを随時提供した。主要5品目では、平成30年度使用量の28%、5.2 t 分の有機食材の提供を行った。それ以外にも、だいこん、白菜、カブ、スイートコーンなど1.1 t を提供した。

※自己評価【B】

【理由】

コロナ禍であったが、予定していた効果が得られた。

今後の取り組み

本事業は、今年度で終了となりますが、引き続き自然に優しい農法や循環型農業について啓発していくとともに、実証圃場での研修会で培ったノウハウを広め、学校給食や病院、福祉施設への食材の提供も継続して参ります。

遊休農地対策として開始した当事業ですが、8月の有機農業研究者会議2021での実証圃場見学先に選定いただいたり、サステイナアワード2021へ取り組みを紹介する動画を投稿したところ、優秀賞 (審査員特別賞) をいただくなど環境保全型農業、また持続可能な農業の推進への取組についての先進事例として全国各地から認識していただき、視察の受け入れなども実施しています。元気づくり支援金南信州地域の令和2年度優良事例の地域振興局長にも選定いただき、今後の活動の励みとなるような賞をいただきました。

町の総合計画では、SDGsに取り組み、持続可能な地域を構築していこうと考えています。環境にやさしく、安心安全な食べ物の地産地消を行うことでの経済の地域内循環を構築し、その先に地域のブランド化を目指し、持続可能な農業の推進につなげられるよう今後も取り組みを行います。